

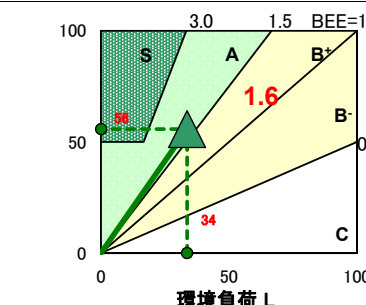
■使用評価マニュアル: CASBEE-戸建(新築) 2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜[戸建]2017年版 v.1.0

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	個人住宅		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2018年1月	竣工		持ち込み家電等	仮
建設地	横浜市緑区東本郷			外構の仕様	仮
用途地域	第一種低層住居専用地域	確定	<備考>		
省エネルギー地域区分	6地域		外観パース等		
構造・構法	鉄骨造	確定			
階数	地上2階	確定	評価の実施日	2017年9月9日	
敷地面積	217 m ²	確定	作成者	青山純	
建築面積	85 m ²	確定	確認日	2017年9月9日	
延床面積	126 m ²		確認者	金子孝則	
世帯人数	5	仮			

2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★



環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

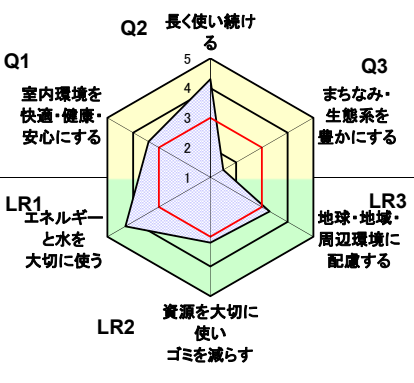
~0% ☆☆☆☆☆ ~50% ☆☆☆☆☆ ~75% ☆☆☆☆☆ ~100% ☆☆☆ 100%超: ☆

戸建標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	66%
③上記+②以外の	27%
④上記+	27%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q2 長く使い続ける

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q1のスコア = 3.4

暑さ・寒さ	3.2
健康と安全・安心	3.5
明るさ	5.0
静かさ	3.0

Q2 長く使い続ける

Q2のスコア = 4.3

長寿命に対する基本性能	4.4
維持管理	5.0
機能性	3.5

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

Q3のスコア = 1.5

まちなみ・景観への配慮	1.0
生物環境の保全と創出	1.0
地域の安全・安心	3.0
地域の資源の活用と住文化の継承	3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR1のスコア = 4.3

総合的な省エネ	4.6
水の節約	3.7
維持管理と運用の工夫	3.5

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR2のスコア = 3.2

省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用	2.2
生産・施工段階における廃棄物削減	4.6
リサイクルの促進	5.0

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化への配慮	5.0
地域環境への配慮	3.0
周辺環境への配慮	2.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 本建物は高断熱、高耐久の性能を実現し、また太陽光発電や燃料電池の採用等により省エネルギーにも配慮しています。長期優良住宅認定も取得し、将来に渡り安心、快適にお住まいいただける住宅としております。		横浜市ZEH普及推進補助事業
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする フェノールフォーム板をメインに断熱層を形成し断熱等級4を満たしています。内装材についてもホルムアルデヒドの発散量を抑え性能表示3となります。適所に換気設備を計画し良好な住環境確保に配慮しています。	Q2 長く使い続ける 本建物は耐久性、耐震性を確保しており日本住宅性能表示基準の耐震等級3、劣化等級3、維持管理等級3を達成しています。自社のアフター部門にて建物の図面、情報を一元管理し、定期点検の実施と独自のメンテナンスプログラムにより長く住み続けられる建物としています。	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする 北と東側に二方向道路があり、特に東側は2階部分をキャンティル居室にして1階部分を凹ませるプランにし、道路側に対して圧迫感のないプランと配置にしています。また南側も、南側隣地と約5m離し、2階に広めのベランダを取り近隣への通風・採光に配慮したプランとなっています。
LR1 エネルギーと水を大切に使う 高い断熱性能を確保し、太陽光発電による創エネを実現、HEMSの導入と併せエネルギー使用量を削減しています。また台所・浴室・洗面化粧台の水栓に節湯機能の水栓・高断熱浴槽を設置し省エネに配慮しています。ZEHの基準に適合した建物としています。	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす 内装下地材や石膏ボード等を、専用工場建物モジュールに合わせた寸法で作成し、現場での端材等の発生を極力削減し施工時のゴミ発生を低減しています。また、発生ゴミの分別と屋根付きのゴミ置き場を現場に設置することにより、雨にぬらす発生廃棄物の重量削減に配慮しています。	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する 高断熱、創エネルギーを積極的に採用することにより、ライフサイクルCO ₂ 排出量をレベル5を達成しています。



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

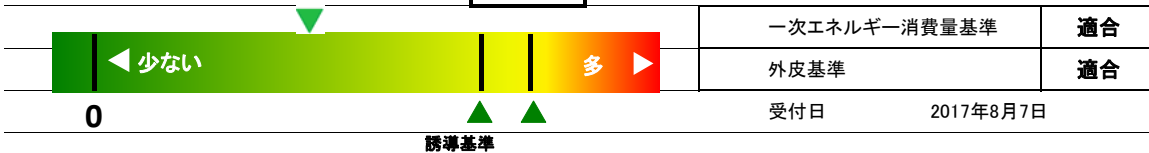
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 **個人住宅**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **51** %削減



■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

- ①太陽光発電・の搭載・燃料電池発電(エネファーム)掲載
- ③HEMSにより電力の使用量を表示

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **4**

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当)

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤ホルムアルデヒド対策における等級3を満たしている

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

- ⑧日本住宅性能表示基準「3-1劣化対策等級」における等級3を満たしている。
- ⑨北と東に二方向道路に接している敷地で、道路側に圧迫感のない配置とプランを心がけた。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **1**

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

燃料電池 ・ コージェネレーション ・